

玄武塾 入門

漢方治療に関心のある方に、漢方医学について基本から診療の実際についてまでわかりやすくご説明します。

これまで診療を通じて患者さんにご説明してきた内容を入門講座としました。

本講座のカリキュラムは「なぜ」、「どうちがうのか」に答えるように構成しています。また養生法について生活習慣、食事、運動の面から随時解説いたします。食養については二十余年板倉啓子先生と和漢薬膳について研究してきましたので項を改めてご説明したいと思います。

はじめに	
現代における東洋医学の必要性	
不定愁訴には漢方が良い？	
西洋医学と東洋医学の違い	
全身を診るのが漢方 ～それを支える身体の構成理論	
機能別分類と臓器別分類 ～マクロかミクロか	
東洋医学の学び方 ～西洋医学を忘れよう	
西洋医学と東洋医学の併用 ～相互補完から相乗効果へ	
東洋医学では人体をどう捉えるか～概論のみ	
東洋医学の進歩	その歴史 中医学と日本の漢方 ～困惑する前に 傷寒論、金匱要略
東洋医学における生理観 ～人間の身体はどういうシステムになっている？	陰陽とは：生体を支配する最上位の要素、変動しバランスする ～基本となる考え！ 五行とは：生理機能単位として五臓六腑に分類 気血水：生体の恒常性を保つ要素 ～人体機能の基本構成要素 (経路とは)
東洋医学における病理観 ～病気とは正常状態からのズレ ～病気になるメカニズム	陰陽論：八綱弁証；陰陽、虚実、寒熱、表裏 ～どのようにおかしいのか 五行論：五臓六腑 ～どこが 気血水：生体の恒常性の歪み ～どういう成分
病因論：なぜ病気になるのか ～内因と外因	
診察法：四診とはどのように ～所見	
東洋医学では病気をどのように治療するか	
治療の進め方～治療法の選択	漢方薬、鍼灸治療、養生法
漢方薬について	漢方薬の成り立ちと特徴：西洋薬と対比 煎じ薬とエキス製剤 ～原料の生薬とは(煎じ薬は10%、原材料の値上がり) エキス剤の効果はメーカーによって同じではない 漢方薬の副作用
漢方薬をとりまく病院・調剤薬局の現場と周辺事情 ～薬剤師	
保険診療の限界～健康保険による漢方処方への規制	
入門編鍼灸講座	
漢方と鍼灸	
日本鍼灸と中医鍼灸	
経絡経穴概論 ～経絡経穴は東洋医学の解剖生理～	

※この他、毎回養生についての講義を行う予定です。

※カリキュラムは暫定のものとなります。変更となる場合がございますので、ご了承ください。